

# 原子力事故への対応

## 研究目的

東日本大震災に伴う原子力発電所事故により発生した広範な放射能汚染は、この若狭湾地域においても他人事ではありません。若狭湾エネルギー研究センターでは汚染された地域の飲用の井戸水の安全性を検証し、復興へのお手伝いも担っています。また、より一層の安全に資するため、原子力事故にいち早く対応可能な放射線源情報を評価する手法も開発しています。

## 飲用の井戸水の放射能検査

国の実施した「緊急時避難準備区域の解除に向けた放射線モニタリングアクションプラン」に参画し、当該地域で使用されている井戸水の一部（サンプル数613本）を放射能分析しました。測定結果では、飲用に使用されている井戸水サンプルからは事故に由来する放射能は検出されませんでした。このデータも参考にして、避難指示区域が再編されました。今後も、より効率的に、そしてより確実に測定する技術を培うことで、今後も復興への一助を担って参ります。

